

施策アイデア一覧(8.5時点)

<p>安定した雇用を創出する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工業者やデザイナーと提携し、竹藪(イノシシ等のエサになる)等の生活に害を及ぼす可能性がある素材を利用した製品や食材の作成</li> <li>女性を対象とした創業支援(創業セミナー等)</li> <li>経営者＝雇用を生んでエライという意識の醸成</li> <li>寒ブリ(冬の三か月間だけが素材の場合の対象)が年間を通じて食べられる加工</li> <li>水見の魅力を総合発信できる新会社の創設(水見全体でブリをパッケージ化して発信する等)</li> <li>(観光客等がアクセスしやすくなるような)交通の便の工夫</li> <li>水見市の良さ(景観・環境)の活用</li> <li>中小企業が単体ではなく一つのまとまりとして東ねた会社の設立(受注・情報処理(IT)等)</li> <li>IT等を利用した宿泊施設の組合設立</li> <li>企業誘致(工業用水が不要な業種を誘致する)</li> <li>水見の資源活用(農業用水を工業用水として活用)</li> <li>集団での事業承継</li> <li>高齢者・障がい者向け産業の創出支援</li> <li>市内のビジネスマッチング</li> <li>労務環境の底上げ</li> <li>インターネットビジネスの水見特産品支店を作り、水見へもインターネットマネーが入るようにする</li> <li>市内異種業種の連携促進</li> <li>在宅ビジネスあつ旋業者と水見市が業務提携</li> <li>中小企業が単体ではなく一つのまとまりとして東ねた会社の設立</li> <li>水見産品を加工した製品開発と販売網拡充</li> <li>水見の米を利用する(素材はおいしいので、うまく利用したい)</li> <li>クリエイティブ産業従事者のプラットフォーム構築</li> <li>能登(水見)くると観光事業</li> <li>東京オリンピックで地方創生事業</li> </ul>
<p>新しいひとの流れをつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児期からのふるさと教育・感動体験</li> <li>水見版acoico(首都圏若者ネットワーク)、世代別おかえりパーティ、親からのメッセージやUターン選択に必要な情報配信(住まい・しごと・生活等)</li> <li>インターンシップ企画の充実</li> <li>Uターン者支援・受け皿づくり・マッチング</li> <li>魅力が伝わるライフスタイル情報配信</li> <li>若年層の定住・移住者へのインセンティブ(補助金・助成金)強化</li> <li>逆単身赴任者(子育て目的等で妻子が水見へ移住し、夫が東京へ単身赴任)支援制度創設(新幹線通勤助成等)</li> <li>女性クリエイター居住支援、高速ブロードバンド環境の整備</li> <li>地区コーディネーター配置、住まいやしごと・活動の場等の受け皿づくり</li> <li>おさかなアカデミー(漁師塾・すし職人塾・料理人塾・魚&amp;野菜ソムリエ塾etc)の設立</li> <li>起業支援・グローバル&amp;プロフェッショナル人材の育成</li> <li>水見産にこだわったホンモノの学校給食提供</li> <li>外国人観光客(インバウンド)の受け入れ・環境整備</li> <li>企業・大学等との連携による地方創生ラボの設立</li> <li>日本リーグハンドボールチーム創設</li> <li>ハンドボール競技オリンピック事前合宿招致</li> <li>食を含む多彩なアートプロジェクトの展開</li> <li>水見のおふくろの味</li> <li>学校らしきものを作る</li> <li>いつでもブリを供給</li> <li>地域のつながり</li> <li>交流人口増</li> <li>母子家庭にフォーカスして水見市に移住してもらい、介護人材として活躍してもらう。</li> <li>Uターン者を支援・呼び込むシステムづくり</li> <li>移住支援</li> <li>同窓会</li> <li>しごとのマッチングの充実</li> <li>定年後のUターンの増加(水見市出身者以外へもPR/Uターンも含む) ・富裕層の水見への回帰、移住を促進することで新しい人の流れ、お金の流れを作る。</li> <li>商店街の再構築(観光客が商店街を散策しても入ってみたいと思う店は少なく、日曜日にほとんどの店がシャッターを下ろしている)</li> <li>金沢医科大学と連携したまちづくり 水見市役所、金沢医科大学水見市民病院周辺を内灘町のようなニュータウン、若者のまちを整備する</li> <li>都会居住者へ水見へ移住してもらう</li> </ul>
<p>結婚・出産・子育ての希望をかかなえる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出会いの場を創出し学年を超えた同窓会の開催</li> <li>おせっかいおじさん・おばさんの活用</li> <li>市役所におせっかい課の設置</li> <li>若者の働く場の創出</li> <li>総合病院における産科の開設</li> <li>不妊治療→精神的なサポート体制の整備</li> <li>妊娠をしやすく→ライフワークバランスの啓蒙</li> <li>学童保育の拡充(スタッフの質の向上)</li> <li>男性の育児休業を取りやすい環境の整備</li> <li>男性(父親)の子育てに対する意識の変革</li> <li>病時・病後時保育の充実</li> <li>高校生までの医療費の無料化</li> <li>保育料等の軽減</li> <li>第三子以降を対象とした助成金の支給</li> <li>学校以外の教育負担金(塾の費用等)の助成</li> <li>返済不要の奨学金</li> <li>子育て中のメンタルのフォロー</li> <li>メディアの力による子育てしやすい社会への啓蒙</li> <li>出会いの場の創出</li> <li>母子手帳の充実</li> <li>障害のある子どもの生まれる確立が高齢になると高くことを男性女性とも知識として知ってもらうように子どもたちに教育の中で教えていく。</li> <li>妊娠(不妊治療を含む)→出産→子育て など家族ごとのケースオーダーで、切れ目なく支援する体制づくり(exフィンランド:ネウボラ)</li> <li>子育て世代の経済的支援</li> <li>相続税 どうせ国税に納めるなら「ふるさと」のほうに使って欲しい</li> <li>水見のこどものための教育基金の設立</li> <li>夫婦・家族の有り方に関する啓蒙</li> <li>障害児の子育て支援の充実</li> <li>異性に対する接し方を教える人の育成</li> <li>既存の住宅を二世帯住宅に改良するアイデアや、そのための資金の援助等を通じ、孫を真ん中に、親と子のそれぞれおの夫婦が互いの生き方を尊重しながら生活できるように</li> <li>市内に24時間診療をしている小児科医を設置する</li> <li>「お見合いエントリーシート」の提出</li> <li>子づくり(不妊治療)チャレンジの助成拡大(早期治療から)</li> <li>総合病院における参加の開設に伴う不妊治療の実施 ・既存産科による不妊治療実施のための助成</li> <li>若者が何を望んでいるかを知る</li> <li>任意予防接種の無料化</li> <li>保育施設の整備・拡充</li> <li>中学校・高校の保健体育の授業内容に不妊の問題、人生設計、未来を考えることが出来る内容を加える</li> <li>夫の育児休業取得率を義務化により向上させる</li> <li>妊娠・出産できる体を作ろう講座の実施</li> <li>父親の理解や知識を高めるための取り組みと、相談窓口の設置</li> </ul>